

農家で中学生100人受け入れ

担当者が打ち合わせ会議

和寒、剣淵で31日に「半日体験」

【和寒】農業体験の一環として、今月末に札幌市内中学校の生徒を各農



両町の担当者がタイムスケジュールなどを確認した

家で受け入れる準備を進めている和寒町グリーンツーリズムネットワーク協議会と剣淵町との担当者合同打ち合わせが十日、和寒町民センター開かれ

た。この日、会場には、同

協議会事務局と剣淵町経済課の職員、事業をサポートする民間企業「アグリテック」(本社・東川町)の担当者らが出席。実施当日のタイムスケジュールや緊急時の連絡体制を確認した。

同協議会は、道内外の修学旅行生などを町内農家で受け入れる体制づくりを目指し、和寒町農民連盟(中原浩一執行委員長)の呼び掛けで集まった町内農家約二十戸で組織しており、昨年三月に発足。剣淵町でも、上川支庁が支庁管内全体での受け入れ体制の構築を目的とした「上川管内農業・農村体験交流受入ネットワーク化推進事業」と連携し、町内二十戸の農家が今年度の受け入れ準備を進めている。

今年度実施する半日体験は五月三十一日に実施することが決まっており、生徒らが午前中にバスで両町に訪れる。参加する農家それぞれが一戸一人から四人の生徒を受け持ち、午後から一緒に農業

体験を行う予定となっている。また、対面式などを行う予定で、和寒町では町総合体育館を、剣淵町では道の駅「絵本の里けんぶち」を集合場所として、生徒らを出迎えたとしている。(蠣崎一生)

H19. 5. 14 (月)

北都新聞